

9. 試験の日の注意事項と不正行為の禁止

(1) 試験の場所に来る前の注意

試験の日に、試験の会場^{しけん かいじょう}で体温^{たいおん}を測^{はか}ることがあります。

熱^{ねつ}がある人や、気分^{きぶん}が悪い人は、試験^{しけん}を受けることができないことがあります。

(2) 受付での注意

① 試験案内^{しけんあんない}の「8. 試験^{しけん}の日^ひに持^もってくるもの」の①～⑥^{わす}を忘^{わす}れないで持^もって来^きてください。

② 受付^{うけつけ}で本人^{ほんにん}確認^{かくにん}をします。顔^{かお}をチェッ^{とき}クする時^{とき}はマ^きスクをは^きずしてくだ^きさい。

③ 帽子^{ぼうし}やサングラス、ヘッ^{ふくろ}ドホ^いンやイヤホ^いンをはずして、バ^{ふくろ}ッグや袋^いに入^いれてくだ^いさい。

④ マイペー^{とうろく}ジに登^{しゃしん}録^しした写^{とき}真^いがよ^いくない時^{とき}は、も^いう一^い度^{ちど}、写^{しゃしん}真^しを撮^とり直^{なお}しし^します。

「写^{しゃしん}真^しの撮^とり直^{なお}し」と言^いわ^{ひと}れた人^{ひと}は、係^{かかりいん}員^{いん}の言^いうこ^きとを聞^きいて、そ^{とお}の通^{とお}りにしてくだ^きさい。

⑤ 受付^{うけつけ}が終^おわ^{ひと}った人^{ひと}は、試^{しけん}験^への部^や屋^{はい}に入^いるこ^きとがで^きます。

※試^{しけん}験^{はじ}が始^{ふんまえ}まる 15分^{うけつけ}前^きま^きでに受^{ふんまえ}付^こに^{ばあい}来^{しけん}て^うくだ^うさい。15分^う前^うに^う来^うない場^う合^うは、試^う験^うを^う受^うけ^うら^うれ^うな^うく^うな^うるこ^うとが^うあ^うり^うま^うす。

試^{しけん}験^{かい}始^し時^じ刻^{こく}に遅^{おく}れた場^{ばあい}合^いは、試^{しけん}験^うを^う受^うけ^うるこ^うとが^うで^きま^きせ^きん。

(注意) 天^{てん}気^きが悪^{わる}い時^{とき}は、電^{でん}車^{しゃ}やバ^おス^くが遅^{おく}れるこ^きとがあ^あり^あま^あす。

試^{しけん}験^{ばしよ}の場^は所^くには、早^{はや}く来^くるよ^うに^うして^うくだ^きさい。

(3) 試験の部屋での注意

① 「受^{じゅ}験^{けん}票^{ひょう}」の「席^{せき}番^{ばん}」と同^{おな}じ番^{ばん}号^{ごう}の椅^い子^すに座^{すわ}ってくだ^きさい。

② 試^{しけん}験^{まえ}の前^へに部^へ屋^やか^でら出^{はい}たり、入^{はい}ったりする時^{とき}は、必^{かな}ず「受^{じゅ}験^{けん}票^{ひょう}」を持^もって行^いってくだ^きさい。

③ 試^{しけん}験^{はじ}が始^じまる時^じ間^{かん}の 15分^{ふんまえ}前^{まえ}ま^{まえ}でに、試^{しけん}験^への部^や屋^{はい}に入^いってくだ^きさい。

④ 話^{はなし}をしな^ない^なでくだ^きさい。

⑤ 部^へ屋^やの中^{なか}で、食^たべ^のたり、飲^のみ物^{もの}を飲^のんだりしな^ない^なでくだ^きさい。

⑥ 試^{しけん}験^{はじ}が始^はま^{はい}ると、部^へ屋^やに入^いるこ^きと^きは^きで^きま^きせ^きん。

■ 受^{じゅ}験^{けん}票^{ひょう}は、席^{せき}番^{ばん}の隣^{となり}に置^おいてくだ^きさい。

■ 机^{つくえ}の上^{うえ}には、HB^{えんぴつ}の鉛^け筆^ふと消^{でん}し^{たく}ゴ^{しょう}ム、電^{でん}卓^{たく}（使^し用^{よう}する人^{ひと}）を置^おいてくだ^きさい。

それ以外^{いがい}の物^{もの}は、バ^{ふくろ}ッグや袋^いに入^いれて、バ^{ふくろ}ッグを閉^しめて、椅^い子^すの下^{した}に置^おいてくだ^きさい。

い。シャープペンシル、ロケットえんぴつ、えんぴつけずり等は、持ってきても、試験中は、使うことはできません。

- 携帯電話、スマートフォン等は、試験の部屋から出るまでは、必ず電源を「OFF」にして、係員のチェックを受けてください。

「OFF」のやり方は、自分でできるようにしておいてください。

係員のチェックが終わったら、バッグや袋に入れて、バッグを閉めて、椅子の下に置いてください。

- 時計は、試験の部屋にあります。自分の時計を使うことはできません。
- 自分の時計は、アラームの音が出ないようにして、バッグや袋に入れて、バッグを閉めて、椅子の下に置いてください。

試験の時は、時計を机の上に置いたり、時計を腕に付けることはできません。

携帯電話やスマートフォン等を時計として使うことはできません。

試験の時に携帯電話やスマートフォン、時計からのアラーム、バイブレーターなどの音が鳴った時は、試験を受けることができなくなることがあります。必ず音が出ないように注意をしてください。

- 電卓（計算機）を使用できます。電卓を使いたい人は自分で持ってきてください。「8.試験の日に持ってくるもの」の（注意5）を確認して下さい。
- 試験の部屋では、係員の話をよく聞いて、その通りにしてください。
係員の話听不懂時は、試験を受けることができなくなることがあります。

（4）試験が始まる前の注意

- 机の上には、受験票、HBのえんぴつ、消しゴム、電卓（使いたい人のみ）、試験の部屋で配られたマークシートと「マークシート記入例と試験の注意事項」だけを置いてください。
他のものは、バッグや袋に入れて、バッグを閉めて、椅子の下に置いてください。
- 「マークシート記入例」をよく見て、マークシートに自分の名前と受験番号をまちがいのないように書いてください。
- マークシートに書いた受験番号の数字を黒く塗ってください。
- 体や服等に文字や数字を書いている人は、カンニングとみなされて、試験の部屋からでていくよう言われ、試験を受けられないことがあります。体や服等に文字や数字を書かないようにしてください。
- 試験の部屋で帽子やサングラスはしないください。
また、ヘッドホンやイヤホンも使うことができません。
バッグや袋に入れて、バッグを閉めて、椅子の下に置いてください。

- 試験の時は、HB のえんぴつと消しゴム、電卓（使いたい人のみ）のみを使ってください。シャープペンシルやロケットえんぴつ、えんぴつけずりは、試験中は使うことができません。バッグや袋に入れて、バッグを閉めて、椅子の下に置いてください。
- トイレは、試験が始まる 15 分前までに行っておいてください。
- 試験が始まる時に、問題用紙を配ります。
係員が「始めてください」と言うまで、問題用紙を開いたり、答えを書いたりしないでください。

(5) 試験が始まってからの注意

- 答えはマークシートに書きます。
問題用紙に解答を書いても採点されません。
- 答えをまちがえた時は、消しゴムできれいに消してください。
マークシートを汚くしたり、折ったりしないでください。
マークシートを読み取る機械が、正しく読めないことがあります。
正しく読めないと、採点されません。
- 試験の間にトイレに行った時も、もう一度部屋に入ることはできません。
トイレは試験が始まる 15 分前までに行っておいてください。
- 試験が始まって 30 分が過ぎたら、係員からお知らせがあります。
係員のチェックを受けて「出てもいいです」と言われたら部屋を出ることができます。
部屋を出たら、もう一度部屋に入ることはできません。
一度部屋を出たら試験は終わりです。
- 試験の部屋の近くで、話さないでください。
- 試験が終わる時間の 10 分前は、部屋を出ることができません。
- 問題の内容に関する質問に答えることはできません。
- 試験時間中に気分が悪くなった時は、手をあげて、係員に知らせてください。
- 係員の話をよく聞いて、その通りにしてください。

(6) 部屋を出る時の注意

- 試験中に部屋を出る時は、席に座ったまま、必ず手をあげて係員に知らせてください。係員が来たら、答えが書いてあるマークシート、問題用紙、「マークシート記入例」と試験の注意事項」を係員に渡して、チェックを受けてください。
チェックを受けたあと、係員が「出てもいいです」と言ったら、自分の荷物を持って試験の部屋を出てください。
- 試験の途中で部屋を出ると、もう一度、部屋に入ることはできません。

また、試験が終わって部屋を出た人は、できるだけ早く会場を出てください。

- 試験が終わる 10分前から試験が終わるまでは、部屋から出ることができません。係員が、答えが書いてあるマークシート、問題用紙、「マークシート記入例と試験の注意事項」を集めるまで待っていてください。
係員が「出てもいいです」と言うまでは、部屋を出ることはできません。

(7) 不正行為

- 次のことをすると、イエローカードが出され、注意されます。イエローカードが2枚出ると、失格・退場となり、採点されません。

【イエローカード=注意】(イエローカード2枚で失格・退場)

- ① 試験が始まる前に問題用紙を開いたり、答えを書いたとき。
- ② 試験中に許可なくしゃべったとき。
- ③ 試験中に「他の人に答えを教える」「合図を送る」「他の人から答えを教えてもらう」「他の人の答えを見る」などの行為と疑われることをしたとき。
- ④ 試験中に携帯電話やスマートフォン、時計などからのアラーム、バイブレーターなどの音が鳴ったとき。
- ⑤ 問題や答えを問題用紙やマークシート以外の何かに書き写していたとき。
- ⑥ 他の人の迷惑になるようなことをして、係員の注意の通りにしないとき。
- ⑦ 係員が指示する前に、許可なく立ち上がり、係員が注意してもその通りにしようとしないとき。
- ⑧ 係員が「マークシートに記入するのをやめてください」と言った後も、答えを書いたとき。
- ⑨ 試験が終わって、係員がマークシートを集めているのに渡さないとき。
- ⑩ 試験中にガムやアメなどを食べている、飲み物を飲んでいるとわかったとき。
- ⑪ その他、係員が注意してもその通りにしないとき。

- 次のことをするとレッドカードが出され、失格・退場となり、採点されません。

【レッドカード=失格・退場】(レッドカード1枚で失格・退場)

- ① 受験者が受験票と別人のとき。
- ② 試験中に他の人のマークシートに答えを書いたり、書いてもらったり、問題用紙やマ

ークシートを交換したとき。

- ③ 試験中にカンニングペーパーや参考書を見たり、スマートフォンを使うことを含め、カンニング行為をしたとき。
- ④ 使用不可の電卓を使用したとき。
- ⑤ 問題用紙やマークシートを試験の部屋から外に持ち出したとき。
- ⑥ 係員が「出てもいいです」と言う前に部屋を出たとき。
- ⑦ 問題や答えを何かに書き写して、試験の部屋から外に持ち出したとき。

■ 重複申込を含め、不正の手段によって試験を受けたり、受けようとした人は、その試験を受けることができません。また、合格した場合でも、合格を取り消し、最大5年間試験を受けることができないようにすることがあります。

■ 不正行為をしたために、その後で受験者が困っても、OTAFF は責任や義務等を負いません。受験料も返しません。

(8) その他の注意

- ① 試験会場での写真・動画等の撮影・録音はできません。
- ② たばこを吸う時は、決められた場所で吸ってください。
- ③ 試験会場で立ち入りが禁止されている場所には絶対に入らないでください。
- ④ 試験会場の備品等には触らないでください。
- ⑤ 試験会場には、ベビールームや子供のための部屋はありません。
- ⑥ 試験会場には、受験者だけ入ることができます。(他人を連れて入ることはできません)
- ⑦ 試験の日は、受験者を電話等で呼んだり、メッセージを伝えることはできません。

10. 合格者発表、合格証書

(1) 合格者発表

可否の結果は、試験の全日程の終了後、3週間以内を目途に、OTAFF のホームページとマイページの「受験履歴」から見るができます。合格発表は手続きの関係でさらに遅れることがあります。